

まちづくりだより

平成25年4月16日発行

(2013) No. 62

発行

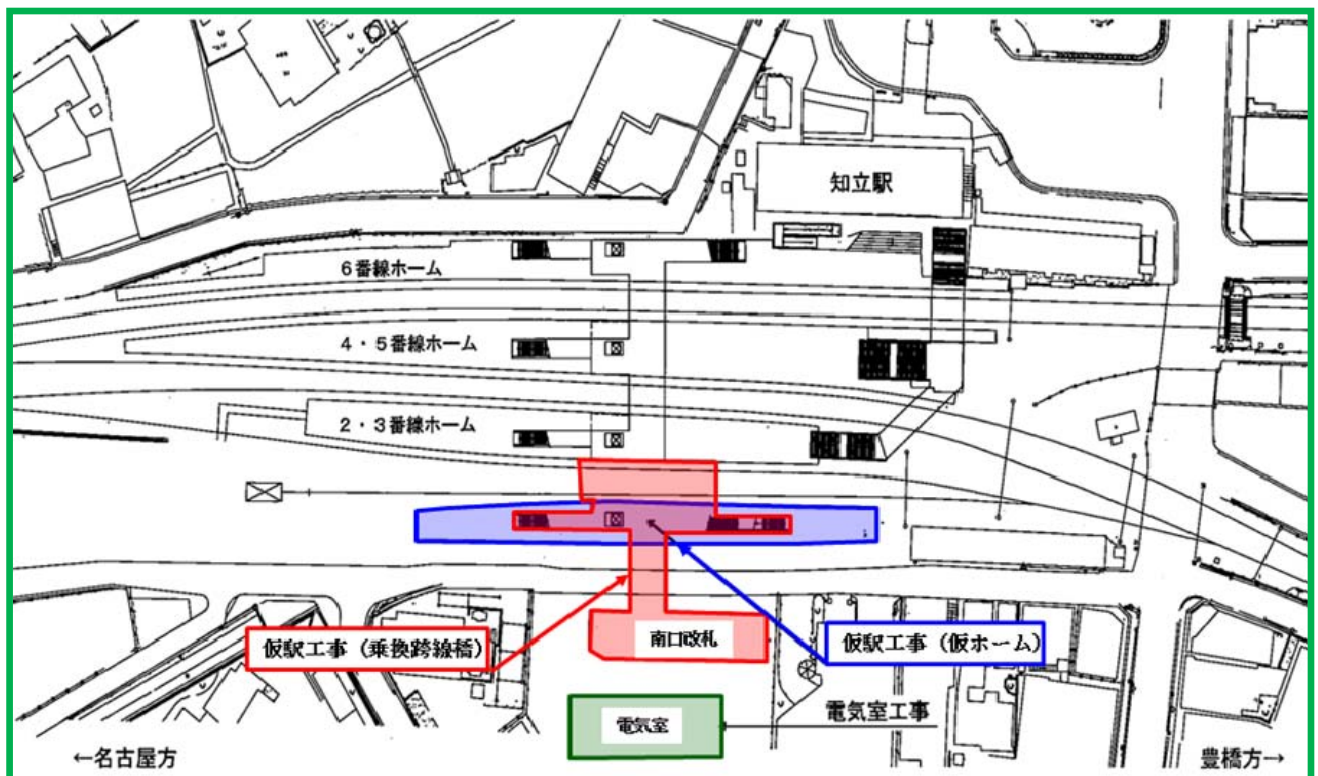
知立連続立体交差事業
促進期成同盟会

知立駅で仮駅工事が行われています。

3月より知立駅部において仮線工事のうち、仮駅工事、電気室設置工事が行われています。仮駅工事では仮線を南側に設置するために現在の2・3番線ホームの南側に仮ホームを作り、仮ホームの設置に併せて乗換跨線橋も南側へ延伸することで仮ホームへの乗換ができるようにするとともに、南側にも改札口を設けていきます。電気室設置工事は、現在駅敷地内にある鉄道電気施設が仮線工事の支障となるため南側へ移設するものです。仮駅工事については夜間にも作業が行われます。



仮ホーム設置箇所（平成25年3月25日撮影）

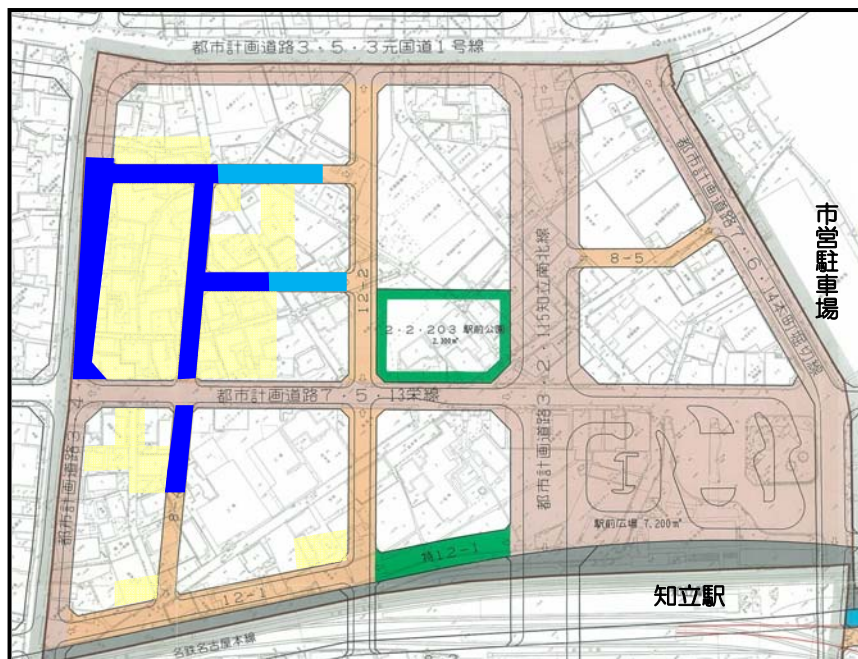


仮駅工事および電気室工事箇所図

知立駅周辺整備事業進捗状況

1. 知立駅周辺土地区画整理事業

平成24年度につきましては関係の皆様のご協力により11件の建物移転を実施し、併せて区画道路の整備および移転先の整地工事を進めました。



～平成24年度末事業進捗状況～

(建物移転戸数)

123件/249件 49%

(区画道路整備延長)

280m/1,781m 16%

- ：移転完了区域
- ：H24年度整備完了
- ：整備済み

平成25年度におきましては、本町地区、栄地区において建物移転、区画道路の築造を順次実施いたします。

【区画整理整備前】

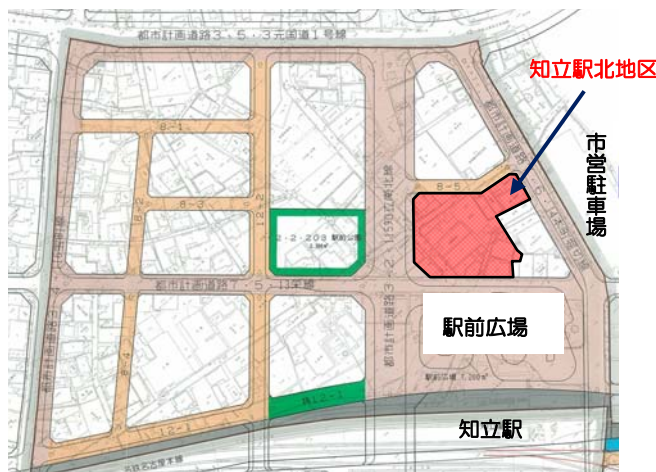


【現 況】



2. 知立駅北地区市街地再開発事業

知立駅駅前広場の北側において、共同で建物を建てることに賛同する区画整理事業の権利者が集まって再開発ビルを建設する計画が進められています。この再開発ビルは地域住民の生活利便性を向上し、まちに賑わいをもたらすこと、快適なまちなか居住を推進することを目的として、店舗、住宅、駐車場で構成される計画となっています。平成25年3月に都市計画決定が行われ、再開発ビルのオープンは平成30年を予定しています。



再開発ビル完成イメージ図

3. 県道安城知立線整備事業

愛知県により、線路との交差部を中心に道路を広げて歩道を整備する事業が行われています。連続立体交差事業と合わせて名鉄名古屋本線・三河線と交差している幹線道路を一体的に整備することで、より事業効果を高めることになります。現在は、拡幅する用地を確保するための用地交渉が進められています。

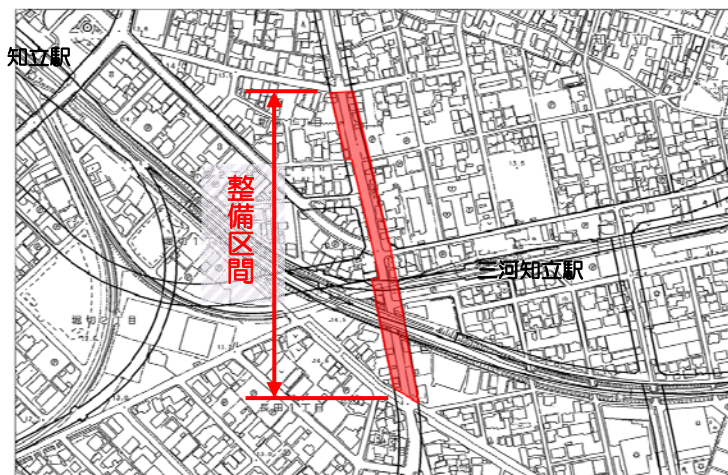
～事業概要～

- ・ 計画延長 L=305m
- ・ 計画幅員 W=21～23m

～平成24年度末事業進捗状況～

(用地取得)

2,705.79㎡ / 3,179.79㎡ 85%

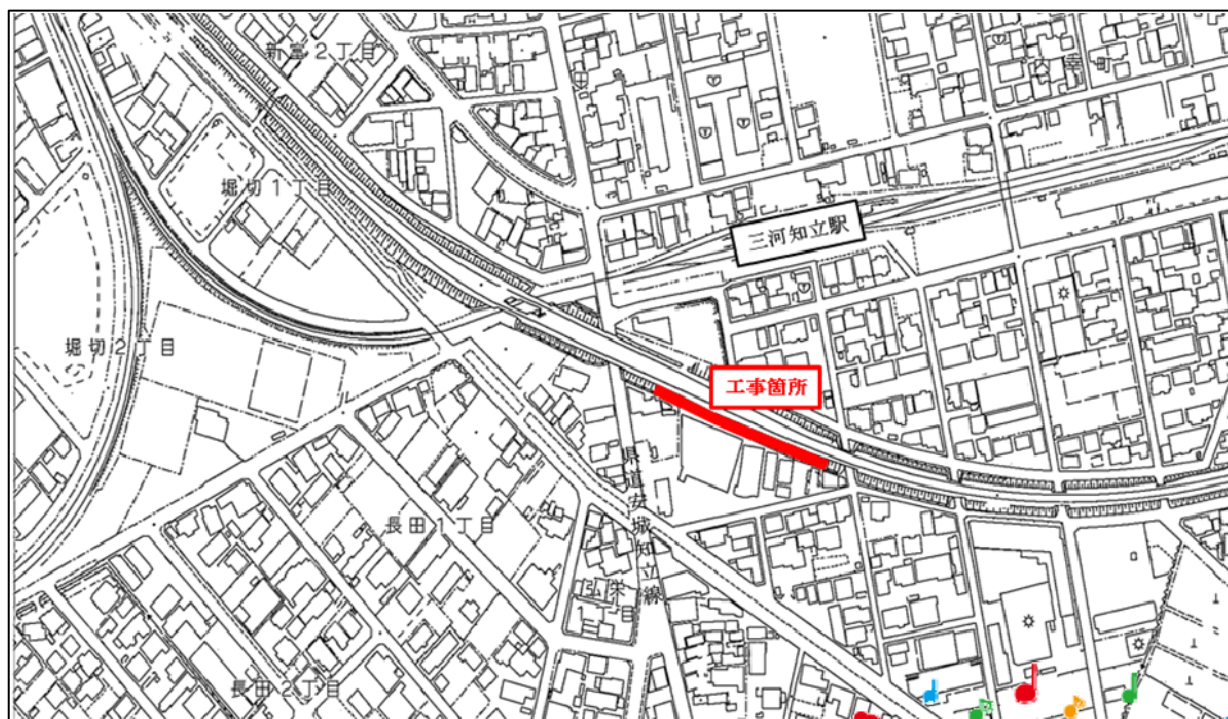


本格的な鉄道工事が始まります。

4月より名古屋本線終点側（県道安城知立線付近）で仮線工事が行われます。現況が既に盛土で高架化している区間に仮線を敷くために、現在の線路の南側にコンクリートの擁壁を設置して土を盛り、その上に仮線を設置していきます。まずは、盛土部分にコンクリートの擁壁を設置するため、矢板を打って現在の盛土を切り取る作業が行なわれます。鉄道が走っている線路のすぐ横での工事となるため、夜間にも作業が行なわれます。



工事箇所の現況（平成 25 年 3 月 25 日撮影）



工事箇所位置図



【問い合わせ先】

知立市都市整備部都市開発課鉄道高架係 TEL 0566 - 85 - 5882
(知立連続立体交差事業促進期成同盟会事務局) FAX 0566 - 82 - 5775

E-mail tosikaihatu@city.chiryu.lg.jp